

J A尾道総合病院

●当院の特徴

当院では内科、外科をはじめ多くの診療科がレベルの高い医療を地域に提供し、尾三地域の医療を守っています。当院の目指す地域医療とは、尾三地域の医療機関と密接な連携により地域で患者の治療を完結させるものです。当院は広島県東部地域の急性期医療（三次救急）を担当し、かつ最先端の医療レベルを追求する地域に根差した病院であり、いわゆる“田舎の病院”ではありません。一方、尾道市医師会と協働で「尾道方式：在宅から病院へ、そして在宅へ」と言われる医療連携が推進されています。代表的な取り組みとして、予後不良といわれる膵がんの早期発見を目指した“膵がん早期診断プロジェクト”を展開しており、地域と中核病院が一体となって難治癌の早期診断から終末期の在宅ケアまで幅広く取り組んでいます。

●実習の目的

第一線の医療現場において、チーム医療の一員として、実践の医療を学ぶことを目的とします。将来、研修医、臨床医となり、患者に関わる上で必要である全人的医療と専門的知識を得るための学習を、臨床現場、カンファレンス、抄読会などを通じて病院スタッフと同じ土俵で経験します。大学の実習では決して経験できない、地域医療に直結した臨場感、緊張感のある臨床実習を展開しています。

●責任指導教官(広島大学医学部臨床教授)

内科系

内科	日野 文明	副院長
消化器内科	花田 敬士	診療部長

外科系

整形外科	数面 義雄	副院長
呼吸器外科	則行 敏生	診療部長

●受入人数 1クールにつき 内科系 3人・外科系 2人

●宿舎・交通費・食事

宿 舎：尾道駅近辺のホテル（α-1尾道）を用意します。パソコン完備。

昼 食：院内食堂の食事券（食事のみ対象）

交通費：自己負担

【お問い合わせ】

J A尾道総合病院 人事課

〒722-8508 尾道市平原1丁目10番23号

TEL：0848-22-8111 FAX：0848-23-3214

URL：<http://onomichi-gh.jp/>

●実習の内容

1. 内科系アドバンスコース

- 1) 消化器、循環器、呼吸器、腎臓、総合診療/救急、小児科、放射線科など各分野の指導医が熱意をもって指導します。
- 2) 初期研修医または後期研修医がチューターとして1対1で対応します。
- 3) 終日チューターと行動をともにして、研修医の気分を味わう“研修医の日”を原則設けています。
- 4) 曜日ごとに各分野を順次研修します。どの分野を研修するかは、事前にアンケートで希望をお聞きします。
- 5) 研修中に開催される市中の各種研究会へも参加します。
- 6) 希望により、初期研究医とともに“当直”を経験することも可能です。
- 7) 第2週の金曜日は“自由選択”となっており、各自の希望により内科系以外の研修を選択できます。
- 8) 実習中、英文抄読会、症例検討会で各自プレゼンテーションしていただきます。
- 9) チューターの受け持ち患者と一緒に担当し、病歴の記載、サマリーの作成法を実習します。
- 10) 院内で開催される“膾がん教室”、“退院カンファレンス”、“緩和ケアチームカンファレンスなど、地域包括ケアの一貫として開催される尾道総合病院ならではの各種ミーティングに参加することができます。

週間スケジュール				
	7:45(内科の例)	午前	午後	夕刻
月曜日	内科全体カンファレンス	外来検査	特殊検査 病棟実習など	
火曜日		外来検査	特殊検査 病棟実習など	隔週 17:00 術後症例検討会
水曜日	英文抄読会	外来検査	特殊検査 病棟実習など	
木曜日	症例検討会	外来検査	特殊検査 病棟実習など	
金曜日	カンサーボード カンファレンス	外来検査	特殊検査 病棟実習など	

2. 外科系アドバンスコース

若手指導レジデントと患者に診療に関わります。

- 1) 周術期管理・手術への参加（手術には助手として参加）

※実習中におおむね20例の手術見学実習をおこなっていただきます。

- 2) 指導医との病歴収集・診察・インフォームドコンセントへの参加
- 3) カンファレンスでの患者プレゼンテーション
- 4) 院内院外研究会・各種イベントへの参加

外科週間スケジュール			
	8:00-	午前	午後
月曜日	周術期カンファレンス	手術	手術
火曜日	抄読会 周術期カンファレンス	病歴聴取	病棟管理 I C
水曜日	周術期カンファレンス	手術	手術
木曜日	抄読会 周術期カンファレンス	麻酔科実習 ストーマ外来	病棟管理 I C
金曜日	がんセンターボード 周術期カンファレンス	手術	手術

3. 内科系・外科系 共通内容

- 1) 当直体験（希望者）

指導医・研修医と共に当直による救急医療を体験します。当院は尾三 因地区の基幹病院であり、様々な症例を経験できます。

- 2) 内科・外科・病理症例検討会

火曜日の夕方開催への参加

- 3) 他科見学

内科・外科実習中に他科の見学など可能です。実習がより充実したのとなるために、実習前にアドバンスコース事前調査票をメールで送りますので、希望することを自由に書いてください。当院でどんな実習をしたいか、何を学びたいかを臆することなく連絡ください。

● 評価

評価は以下のように行います。

- ・ 指導医による学生の行動内容の評価 全 50 点
 - 計画性 10 点 ※
 - 挨拶・身だしなみ 10 点 ※
 - 積極性・協調性 10 点 ※
 - 診療態度 10 点 ※
 - 理解度 10 点 ※
- ・ カンファレンスでのプレゼンテーション 全 20 点
 - 症例の理解度 10 点 ※
 - 態度 10 点
- ・ 学生用カルテの内容 30 点

※については、下記の評価点数×2で採点を行います

点数	評価	備考
1	大変悪い	通常レベルに達していないばかりかとくに問題である、と考えるレベル
2	悪い	通常レベルに達していないと考えるレベル
3	普通	通常、医学生はこの程度やるべきであろうと考えるレベル
4	良い	通常レベルに比べてより良いと考えるレベル
5	大変良い	この評価点について、特に優れていると考えるレベル